

令和3年度 西条小学校学校経営案

◆はじめに

平成27年度より、本校は学校運営協議会を持つコミュニティ・スクールとして地域や保護者の方々のご協力をいただき、新たな西条小の歴史と伝統を創造すべくスタートをしている。

今後も、保護者や地域住民の学校運営への参画により、「地域とともにある学校」として、本校の課題や児童の課題を保護者・地域の力を生かしながら解決し、学校教育目標の実現を図りたい。そのために、教職員が“Team 西条小”として、家庭・地域と協働し、一致団結して教育活動を進めていきたいと考えている。

I 学校教育目標

確かな学力を身につけた心身ともに健康な子どもの育成
～知・徳・体・志の備わった子どもの育成～

II めざす児童・学校・教師像

1. めざす児童像

(1) 自ら学び、考え、判断し、主体的に行動できる子ども（確かな学力）

- 基礎的・基本的な知識や技能を身につけた子ども
- 思考力・判断力・表現力などの課題解決力を身につけた子ども
- 学習や課題に主体的に取り組む子ども

(2) 豊かな人間性や社会性を身につけた子ども（豊かな心）

- 相手を思いやる優しい心や豊かな感性を身につけた子ども
- 仲間と一緒に活動できる対人関係能力を身につけた子ども
- 進んで読書に親しむ子ども
- 規範意識を身につけたきまりを守る子ども

(3) 健康でたくましい子ども（健やかな体）

- 基本的な生活習慣を身につけた子ども
- 健康や安全に気をつけて生活する子ども
- 運動や遊びを通して体力向上に努める子ども

(4) 夢や希望を持ち最後まで努力する子ども（高い志）

- 自分の力でしっかり考え、判断し、行動できる子ども
- 目標を持ち、自分の意志で挑戦し続ける子ども
- 困難に出会っても、最後まで粘り強くやり抜く子ども

2. めざす学校像

- 子どもや職員が生き生きと活動する学校
- 子どもや職員が安心して活動できる学校
- 子どもに生きる力を育む学校
- 子ども・保護者・地域とともにある学校

3. めざす職員像

- 子どもに対する愛情や思いやりをもった職員
- 職に対する使命感や誇り、情熱、向上心をもった職員

- 教育の専門家としての力量を身につけた職員
- 豊かな人間性や社会性など、総合的な人間力を身につけた職員

Ⅲ 学校経営方針

1. 子どもや職員の安全を第一に考え、安心して活動できる学校づくりをすすめる。
(新型コロナウイルス感染症予防と対策、対応の徹底)
2. 子どもたちに、生きる力を育むため、適切な教育課程の編成と実施に努める。
3. 保護者や地域との連携を密にして、地域とともにある学校(コミュニティ・スクール)を
めざす。
4. 適切な情報を保護者や地域に発信し、本校教育への理解を深めてもらう。
5. 適切な学校評価と PDCA サイクルの確立により、学校改善に取り組む。
6. 教職に対する情熱や使命感、専門家としての力量、総合的な人間力を向上させ、職員の
連帯と協働により組織で学校運営にあたる。
7. ICT教育の推進と充実に努めるとともに、GIGAスクール構想への対応を進める。
8. 外国語教育強化地域拠点事業の研究成果を発展させ、グローバルな社会の進展に対応でき
る子どもの育成をめざす。

Ⅳ 学校経営の柱と重点項目

1. 安全対策・安全教育

(1) 安全対策の充実

- ①施設・設備の日常点検活動の実施
- ②授業中、休み時間や放課後等の安全対策
(避難訓練や防災意識を高める防災教育の充実)
- ③登下校の安全対策
(通学路安全点検、ほたるっ子を守る会の拡充、集団登下校の推進)
- ④巡回パトロール実施
- ⑤西条小メール、ブログの有効活用
- ⑥関係機関との連携
- ⑦新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの教育活動

(2) 安全教育の充実

- ①一人一人が大切にされる学校・学年・学級づくりによる、いじめ不登校の根絶
- ②安全教育の充実(地域人材の活用、日常生活、交通安全、登下校、情報教育など)
- ③防犯訓練・避難訓練等の実施
- ④自らの命を守り抜くために、主体的に行動する態度の育成

2. 生きる力を育む教育(生きる力を育む教育課程の編成と実施:キャリア教育の推進)

(1) 確かな学力の育成(子ども理解に基づいた学習指導の推進)

- ①わかる授業、楽しい授業の創造(教材教具の工夫、指導過程の工夫、学習形態の工夫、指導と評価の一体化)
- ②基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得に向けた指導
- ③思考力・判断力・表現力等、課題解決力育成に向けた指導(体験的な学習や課題解決的な学習の重視)
- ④家庭学習、学習習慣確立に向けた取組
- ⑤新学習指導要領の趣旨や内容に基づいた教育課程の編成と実施

(2) 豊かな心の育成(子ども理解に基づいた生徒指導の推進)

- ①体験活動の充実
- ②道徳教育の充実

- ③読書活動の充実
- ④福祉教育，環境教育の充実
- ⑤異年齢集団の交流充実・・・児童会活動，学校行事
- (3) 健やかな体の育成（子ども理解に基づいた健康・体力づくりの推進）**
 - ①基本的な生活習慣確立に向けた取組
 - ②保健教育・食育の充実
 - ③健康診断・体力測定結果を踏まえた健康教育・体力向上の指導の充実

3. 地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）の創造

- (1) 学校運営協議会の充実（保護者・地域の学校運営への参画）**
 - ①コミュニティ・スクールとしての成果や課題の明確化
 - ②学校支援ボランティア（ほたるっ子応援団）の募集と組織化（地域人材の協力依頼）
 - ③学校関係者評価の効果的な取り組み
- (2) 地域の教育力の活用**
 - ①保護者やボランティア，地域人材の積極的な活用
 - ②地域素材の教材化
 - ③地域や県内の施設・設備の活用
- (3) 保護者や地域への情報提供と連携強化**
 - ①学校開放日の充実
 - ②家庭訪問や個別懇談の有効活用と教育相談の推進
 - ③学校・学年便りの発行，各種便り，HPの充実
 - ④基本的な生活習慣や学習習慣確立に向けた家庭への支援の充実

4. 学校の教育力の向上

- (1) 職員の資質向上・指導力向上**
 - ①校内研修及び個人研修の充実
 - ②人事評価を踏まえた一人一実践
 - ③子どもと向き合う時間の確保（働き方改革を推進する）
 - ④関係諸機関との連携
- (2) 学校運営の充実**
 - ①組織対応が可能な職員組織の構築と運営，校務分掌の活性化
 - ②職員間の連携を基盤にした運営（報告・連絡・相談の徹底と迅速・誠実対応）
 - ③学校経営を基盤にした学年・学級経営
 - ④運営委員会の充実
 - ⑤学校評価の充実，内部評価と関係者評価（学校運営協議会による）の実施と公開
- (3) 教育条件の活用に係る特色ある教育活動**
 - ①きめ細かな指導（町教育指導員等の活用）
 - ②特別支援教育の充実と普通学級の支援を必要とする児童の指導の工夫
 - ③教育相談，子育て支援
 - ④外国語教育強化地域拠点事業の継承と発展
 - ⑤ICT機器等の有効な活用（一人一台パソコンの活用）